

令和元年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力

「バナ・バ・レツァツィ・リハビリテーション施設新設計画」引渡式の実施

在ボツワナ日本国大使館

令和5年5月19日

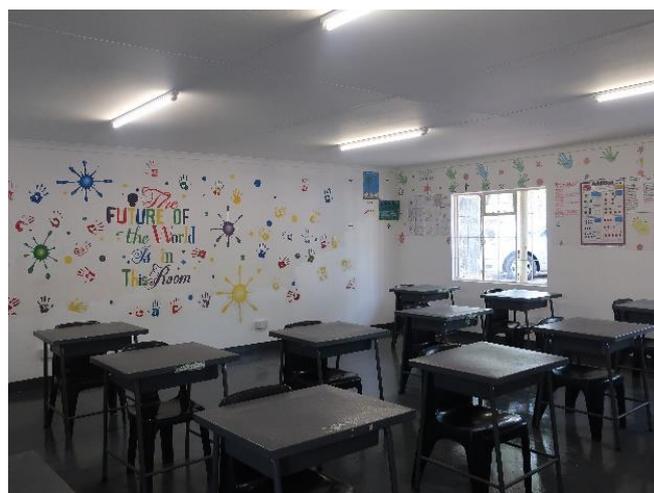
令和5年3月16日、令和元年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力「バナ・バ・レツァツィ・リハビリテーション施設新設計画」の引渡式が、大森摂生駐ボツワナ日本国大使、タワナ・モレミ首長、被供与団体代表のタボカ・ロツィ事務局長及び来賓その他関係者の出席の下、バナ・バ・レツァツィ・リハビリテーション敷地内にて行われました。

本計画は、首都ハボローネから北西に位置するマウン市において、バナ・バ・レツァツィ・リハビリテーション施設を、マウン市内の既存施設とは別の場所の敷地に新設し(1階建て教室2室、カウンセリング室、エントランス、トイレ)、改善された建物及び適切な環境の下で孤児等たちに教育やサービスを提供できるようにすることを目的としています。

引渡式において、大森大使は、新たに建設されたバナ・バ・レツァツィ・リハビリテーション・センターは、マウンとボツワナ北部で増加する未就学児童への対応を支援するとともに、孤児や弱い立場にある子どもたちに安心して生活できる場を与え、必要なすべての支援を提供することができる機関である。子どもたちの周囲にいる大人、そしてコミュニティ全体が、ボツワナの未来である子どもたちを支援することが重要である旨、述べました。



(写真) プラークを除幕する大森大使



(写真) 供与した施設内の教室